

発 言 通 告 書

発言者氏名	大野忠之
発言の会議	平成27年 8月28日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 職員のモチベーションを高める取り組みについて

(1) 課長補佐試験について

ア 平成26年度の受験率と合格率について

イ 市長はその状況をどのように捉えているのか。

ウ 総務部の合格者数が突出しているように見えるが、市長はどのように考えているのか。

(2) 管理職の負担感について

ア 市長はどのような問題意識を持っているのか。

イ 各課長が忌憚なく悩みを話すことができる環境を用意することが必要と思うが、市長はどのように考えているのか。

(3) 職員の評価について

ア 課長が異動することで、職員への評価基準が変わってしまう恐れもあると思われる。課長研修において評価研修を行い「ものさし」を一定のものとしていく必要があるのではないかと思うが、市長はどのように考えているのか。

2 再任用制度について

- (1) 再任用での雇用を希望する職員は、定年退職する際に在籍していた部局の担当者級職員になるのがルールだと聞いている。部課長を務めた方が、ある日を境にその職場で担当者になるというのは、本人にとっても所属にとっても、あまり好ましい状況ではないと思うが、市長はどのように考えているのか。
- (2) このルールは課長補佐試験の受験率にも影響を与えているのではないかと考えるが、市長はどのように考えているのか。

3 日本丸の招致問題について

- (1) 7月7日と24日の神奈川新聞における吉田市長の「虚偽答弁」の記事に対する市長の率直な気持ちについて
- (2) 昨年日本丸が久里浜港に寄港するに至った経緯と、今回久里浜港へ招致に至った経緯について
- (3) 市長が言うところの「誤解を招く答弁」について

ア 第2回定例会において南議員は通告に基づいて質問をしており、市長は副市長を初め関係部局の理事者を交えて検討し、本会議に臨まれていると思う。市長が誤解をしていて「先方からの希望」という方向で答弁しようとしたとしても、関係理事者が「それは、事実と異なる」と異を唱えるべきだったのではないかと考えるが、事前の検討はどのようなものだったのか。

イ なぜ南議員への答弁で今年の8月に久里浜港への寄港を要請していることを明らかにしなかったのか。

- (4) 浦賀地区説明会での説明内容について

ア 浦賀地区での説明会では、日本丸の招致理由について「久里浜港のポートセールスのため」及び「浦賀は民有地であるため、久里浜港に誘致した」旨の説明がなされたとのことだが、南議員への答弁において「日本丸側の意向だった」と発言した理由を同説明会で言及しなかった理由について

- (5) 市長が考える久里浜港のポートセールスについて
- ア 市長が考える久里浜港のポートセールスとは、どのようなものなのか。
 - イ 市長が考える久里浜港のポートセールスと日本丸の招致とが、どのように関係するのか。
- (6) 議会での答弁に虚偽が許されるのであれば、議会制民主主義は成り立たなくなってしまうが、市長はどのように考えているのか。